

(様式2)

## 令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年3月31日  
札幌市立澄川西小学校

## 1 本年度のめざす子ども像

自ら心を動かし 自信をもって行動できる子

## 2 本年度の経営の重点

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校

## 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学ぶ力	子どもの考えや思いが位置付く日常授業を心掛け、自分の考える子、仲間と学び合う子を育てている。	A	今年度学校体制が整わず、互いに授業を見合う場が途中で休止したが、来年度は学年・ブロック研修の時間を確保し日々の授業実践が営まれるよう計画していく。また、澄川中学校区パートナー校との連携を軸に、教職員交流を大切にする。	A	A
	継続すること、挑戦することを大切にしたい学びを目指し、子どもの成長につなげる評価と指導を進めている。	A	本校の6年生で目指す姿は自主学習とする。学年発達権者に応じた手立てを打って推進していく。 低学年…プリントを中心とした宿題。 中学年…選択制プリントなど自主学習へつなぐ。 高学年…自分に合った学習法を見出し、主体的に学ぶ。 学年が上がることによる難しさが見られるようなので、引き続き各家庭への発信と啓発を丁寧に進めていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体制が厳しい中、学校がチームとして奮闘し、子どもたちの教育活動が停滞しないよう対応している姿がうかがえる。学年の発達段階に応じた学びを工夫し、継続と挑戦を大切にしたい工夫がされているのが感じられる。</li> <li>・澄川中学校茶道部の指導を行っております。また、少年消防クラブ指導者として少しでも地域での関わりをもっていきたいと思います。</li> <li>・児童一人一人が自主的な取組のサポートを引き続きお願いします。</li> </ul>			
豊かな心	学級の中で、あじさい活動や日常の学年交流などを通して、子ども同士の温かい人間関係を育てている。	A	あじさい活動は年々、本校の柱となりつつある、全校異学年交流である中休みの「あじさい遊び」、9月体育発表会の「あじさいリレー」を継続する。また来年度は春の遠足を、あじさい遠足に変え、学年同士の関わりも大切にしていきたい。	A	A
	挨拶や心に届く言葉の工夫を通して、自分や仲間の心を大切に育てている。	A	生活委員会によるあいさつ運動やこころ委員会によるあったか心の啓蒙活動による子ども発信の活動が効果を発している。しかし、あいさつへの意識をより高めるために、来年度は各学年によるあいさつ運動も位置付け、より自分事として捉えられるようにしていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の心の教育として継承されているあじさい活動がマンネリ化しないよう子どもたちのアイデアを工夫するのもよいでしょう。次年度は春の遠足をあじさい活動に加えるとのこと、校外での異学年交流の場が増えて楽しみです。挨拶運動を各学年に位置付けていくことも成果を期待したいです。</li> <li>・朝、登校見回りを行っていますが、日々成長する姿を見ることが出来ます。「おはよう。いってらっしゃい。」と声掛けをすると元気が声が返ってきます。</li> <li>・異学年交流で得られるものは大きいと思うので、これからも続けていってほしい。</li> </ul>			
な 健 や か な 本	進んで体を動かす子が育つよう、日々の体育学習や休み時間の場づくりを工夫している。	A	前年度反省を生かし夏期間は、竹馬や一輪車の整備を行い、子どもたちが運動に親しむきっかけづくりで効果を発した。しかし縄跳び運動の取組みがやや滞ってしまったので、来年度は計画的に進めていく。	A	A

	いのちの学習や食指導、外部講師による健康教育を充実させ、自分の心と体を見つめ直す子どもを育てている。	A	いのちの学習についてはカリキュラムとして整備できているので継続していく。食指導についても給食親学校の澄川小栄養教諭と連携し、引き続き全学年での指導を実施していく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動習慣が不足しがちな子どもたちにとって、学校での遊びや挑戦は心身の成長を育むための貴重な機会になると思います。縄跳び活動をはじめとした活動に期待します。体育発表会に保護者・地域の考えに耳を傾けることは、地域との協力と交流を持続可能なものにしていくためにいかがでしょうか。</li> <li>・昔遊びや食、運動を通して、体力の向上に向かって進めてほしい。元気に育つことを願います。</li> <li>・「いのちの学習」の充実を願います。</li> </ul>				

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
いじめ防止	毎日のシャボテンログ、心と体のアンケート、Q-Uアンケート、定例のいじめ防止対策会議の開催等、いじめ防止に向けての取組をしている。	B	各種アンケートについては問題なく、次年度も継続していく。しかし、いじめ防止や情報共有の場の持ち方については、重点を明確にして具体的に話し合えるよう改善していく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々、子どもたちの様子を把握していくのは大変なことと察します。教職員間の情報の共有を共に関係機関の力を活用もして先生方が疲弊しないようにと願います。</li> <li>・成長していく上で、いろいろな問題があると思います。具体的に話し合いながら進めていけると良いです。</li> <li>・日常の子どもたちの些細な変化（言動）を見逃さずに、いじめの予防を取り組んでほしいです。</li> </ul>				
情報発信	学校ホームページやすぐるメールなどの発信を工夫しながら、家庭との情報共有を大切にしている。	A	大切な情報を保護者に速やかに伝わるよう、連絡メールアプリ「すぐる」の活用を今後も継続していく。また、学校ホームページについては、個人情報保護の対策を施した上で、本校の取組を地域や家庭に発信していく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページは個人情報の保護対策もしっかりしていると思いますが、画像公開可能としている保護者へのモザイク加工への説明も必要と思います。</li> <li>・学校の様子などが分かりやすく伝わっています。</li> <li>・「すぐる」は大変良いツールだと思うので、これからもよろしくお願いします。</li> </ul>				
学校体制	学年合同授業や交換授業、学びのサポーターやＴＴなど、担任だけでなく教職員みんなで子どもたちを支えようとしている。	A	学年合同授業や交換授業の取組は、高学年以外の学年にも浸透してきた。小さな学校であるため、引き続き全職員の協力体制でカバーし合い子どもたちを支えていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数の減少により教職員の配置も厳しくなっている中、授業のもち方など工夫していることが子どもたちの姿からうかがえます。サポーターの手を借りながら全員で子どもの成長を支えようとしている姿勢をこれからも示す考えに同感します。</li> <li>・教職員同士の協力体制の充実を引き続きよろしくお願いします。</li> </ul>				
安全	安全指導、熱中症対応、PTA・地域の見守りなど、学校と地域・家庭が連携しながら子どもたちを守る取組を進めている。	A	いつもPTAや地域の方々に見守られ、子どもたちは安心して登下校や学校生活を送ることができているので、今後も継続していく。また本校のエアコン設置は令和9年度となっているため、引き続き夏季の対策を講じていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの安心・安全な生活を守るため、多岐にわたる対策が必要になりますが、地域やPTAの見守りがより充実していることが望まれます。トイレ・エアコンの施設改善対策は早急に対応してほしいと感じます。</li> <li>・早期のトイレの改修とエアコン設置を願っています。</li> <li>・エアコン設置までまだ期間があるので、水分補給等、熱中症対策でできることを積極的に取り組んでください。</li> </ul>				